

2025/7/21

東アジア資金部 ソウル室 +82-2-3782-5859

先週のマーケット動向(7月14日～7月18日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,378.0	1,394.5	1,375.6	1,393.0	+17.6
JPY/KRW	9.3615	9.3820	9.3066	9.3641	+0.001
KOSPI	3,175.59	3,216.01	3,152.42	3,188.07	+12.30

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は上昇。週初ドル/ウォンは1,378.0ウォンでオープン。前週末に米国によるEUやメキシコへの関税賦課に関する報道が見られ、一段と関税を巡る不透明感が拡大したことで底堅い推移が継続し、1,380ウォン台に上昇。翌15日も関税を巡る懸念がウォン相場の重しとなるも、堅調な株式相場への資金流入もあり、上げ幅は限定的。米6月CPIにて関税影響が確認されると米利下げ期待の後退と共に、ドル買いが一段と進み16日に1,390ウォン手前まで上昇。トランプ大統領からパウエルFRB議長解任を検討との報道がされると、米金融政策運営を巡る不確実性が嫌気され17日にドル/ウォンは1,390ウォン台に上昇した。6月米小売売上高も良好な内容だったことで、米国の早期利下げ期待が後退。18日も底堅い推移が継続し、前週末比+17.6ウォンの1,393.0ウォンでクローズした。(韓国時間15:30)

今週の見通し

今週のドル/ウォン相場は揉み合い推移か。米関税については8月1日の猶予期間が迫る中、不確実性が高まっている。また、先週発表された米経済指標が好調だったことで、景気減速懸念の後退と共にドル買いが拡大した。今週も基本的には先週同様に米ドルの底堅い推移が維持されると予想するも、1,400ウォンの心理的節目が意識され、高値圏ではウォン買い圧力が強まり、揉み合う展開を想定。

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1380 ~ 1405	9.25 ~ 9.55	147.0 ~ 150.0

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 23日(水) 欧 7月 消費者信頼感指数 速報値
米 6月 中古住宅販売件数
- 24日(木) 米 7月 失業保険新規申請者数
欧 7月 製造業PMI 速報値
米 7月 製造業PMI 速報値
米 7月 サービス業PMI 速報値
欧 7月 サービス業PMI 速報値
米 6月 新築住宅販売件数
韓 2Q GDP 一次速報
欧 ECB 政策金利発表
- 25日(金) 米 6月 耐久財受注 速報値
日 7月 東京都区内CPI

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。